

代 表 事 例 概 要

<地域整備部門>

○「明治百年通り」 （秋田県 小坂町）

小坂町内には、現存する日本最古の芝居小屋の康楽館をはじめ、旧小坂鉦山事務所や小坂鉦山病院記念棟、天使館などの小坂鉦山関連の歴史的遺産が建ち並んでいる。「明治百年通り」は、これら近代遺産と煉瓦歩道や街路灯などが、明治期のイメージで統一して整備された道路である。さらに、町内に多数自生しているアカシアの並木と、地域のボランティア団体の自主的な清掃活動や花植え活動によって魅力的な沿道がつくられており、地域のシンボルとして住民に親しまれ、誇りのもてる魅力ある地域の形成に役立っている。

また、「活用されてこそ文化財」という視点から、康楽館では、毎年7月の歌舞伎大芝居、4月から12月までの常設公演が行われ、町内外から多くの観光客が訪れている。その他、旧小坂鉦山事務所では、レストランや展示コーナーなどが、天使館では、講演会や音楽会、ダンス教室などが催され、住民の交流の場となっている。

○「市民・行政協働の手づくりビオトープ 赤羽緑地」 （茨城県 日立市）

赤羽緑地は、野鳥や水生生物、水生植物が多種多数生息する、森と溜め池と古墳時代の史跡から構成される公園である。

整備される以前はヤブとツタに覆われたアカマツと雑木の荒地となっていたが、地域住民からの要望で、公園化に向けて平成14年度から整備が開始された。整備にあたっては、住民や専門家が参加するワークショップ方式で検討され、植栽、遊歩道や木製の橋、生物観察設備など、原風景の維持や環境・生態系保全に配慮しながら実施された。

その結果、整備後は、身近な自然観察の場、憩いと安らぎの場としてだけでなく、環境教育の場やイベント会場としても活用されている。住民が行政と連携して、「人・水・緑・自然・歴史が共存できる観察公園」という共通のビジョンを持って事業を推進している。

<地域活動部門>

○「市民創作「函館野外劇」

(市民創作「函館野外劇」の会／北海道 函館市)

函館野外劇は、国の特別史跡「五稜郭跡」のすばらしいロケーションを活かして、毎年7月から8月の各週末、計10回実施される、住民ボランティア主導による野外劇の公演である。

野外劇を通じた郷土の歴史と文化の発信により、地域独自の芸術文化の創造と発展、ボランティア活動や生涯学習の推進、まちづくりの推進に寄与することを目的としている。平成18年度で19回目を迎え、近年は旅行代理店による観劇ツアーが企画されるなど観光産業にも大きく寄与している。

地域住民の主体的な活動が、地域を活性化させている点で評価できるだけでなく、住民自身にも郷土を愛する心が醸成され、誇りを持てる地域となっている。

○「鹿野祭りの似合う街づくり」

(NPOいんしゅう鹿野まちづくり協議会／鳥取県 鳥取市)

鹿野祭りは、400年の伝統を誇っている。

この地域資源に似合うまちづくりをしようと、地域住民によってNPOが設立された。

藍染め暖簾の普及、虚無僧行脚、レトロ市などの大変ユニークな取り組みの他、空屋再生・活用、祭り、イベント等様々な企画が推進され、行政、NPO、住民が一体となってまちづくりに取り組んでいる。その活動は、年々広がりを見せ、住民の楽しみや賑わいを創出しており、市内外からも好評を得ている。

また、街づくり協定において地区の全戸が賛同しており、住民を含めた活動主体がビジョンをしっかりと共有出来ている点で大変評価できる。これにより、地域の魅力と活力の向上に向けた、協働の取り組みが円滑に進んでいる。

＜大賞部門＞

○「ほたるの里」 （北海道 沼田町）

ほたるの里は、沼田町の市街地近傍にある、温泉施設や野外活動施設（テニスコートやキャンプ場等）が存在する区域で、豊かな自然に恵まれている。

沼田町は、自然環境保全の観点からホタルの飼育等の取り組みを始め、北海道初のゲンジボタルの繁殖に成功し、夏場には2～3千匹のホタルが乱舞する。7～8月に開催される「ほたる祭り」では、当初2千人弱だった観光客が、現在では2万人になっている。また、ホタルを地域のシンボルと位置づけ、様々なホタル関連施設整備の他、「ほたるの里条例」「ほたる保護条例」を制定し自然環境保全、ホタルの保護に努めている。

○「石見銀山御料・大森の町並み」 （島根県 大田市）

大森の町並みは、石見銀山と共に発達し、江戸時代後期の武家屋敷や町屋が連なる町並みで、当時の繁栄が偲ばれる貴重な文化財である。

昭和62年には国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、官民協働による町並みの修理・保存、地域住民が主体となった町並みを活かした様々な活動が20年にもわたって行われており、日常生活の場としてだけでなく、地域の財産としての認識が共有されている。地域固有の歴史と文化を、地域資源として、地域住民自らが継続的に育て、地域振興につなげており、観光資源としても、手づくり郷土賞受賞当時（平成元年度）は約21万人だった観光客が、平成17年度には約34万人に達している。